

はじめに

長崎大学では入学者に求める資質・素養をアドミッション・ポリシーとして以下のように宣言しています。

- ・専門的な知識や技術の習得に必要な知識・技能・理解の基礎が充実している。
- ・ものごとの本質を学修するために必要となる基礎的な論理的・批判的思考力，判断力がある。
- ・日本語・英語・その他の外国語で積極的にコミュニケーションを行おうとする姿勢とその基盤となる基礎的な言語運用力を持っている。
- ・自ら考えようとする態度がある。
- ・自らを高めるために継続的に学ぼうとする態度・意欲がある。
- ・多様性を認め，他者と協働しようとする態度がある。
- ・国際社会，地域社会への関心を持っている。

以上のような資質・素養を大学入学共通テスト，個別試験，調査書，小論文・課題論文，実技，面接等により総合的に評価し，入学者の選抜を行っています。

教育開発推進機構アドミッションセンターは，これらの学力要素を公正・公平に評価すべく，入学者選抜方法や試験の調査・研究・開発，ならびに入学者選抜の実施への助言や支援を行っています。また，入学者選抜試験だけではなくよりよい高大接続のあり方を開発・実践するとともに，高校訪問や大学説明会・進学相談会への参加を通し，学校関係者，高校生およびその保護者とのつながりの強化，情報の収集を行っています。なお，アドミッションセンターの専任教員の業務及び教育研究活動の内容は本年報の第Ⅱ部をご覧ください。

令和6年度の入学者選抜は，新型コロナウイルス感染症の位置付けが「5類感染症」に移行して初めての入学者選抜でした。受験生の受け入れ態勢もコロナ禍以前にほぼ戻り，入学後も感染症に関する制限はほとんどない大学生活が始まったものと思います。コロナ禍が入学者選抜に与えた影響については，少し長い目で経過を観察していく必要があるかと思いますが，まずは令和6年度の年報をお送りいたします。

最後に，今後も当センターの事業・業務にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます，ご挨拶と致します。

令和7年3月

副学長（入試担当）
教育開発推進機構アドミッションセンター長
井上 徹志

contents

はじめに

第Ⅰ部 教育開発推進機構アドミッションセンター業務報告

本年度実施業務

1. 入学者選抜方法等に係る調査及び研究に関すること 1
2. 入学者選抜結果の分析及びその評価に関すること 53
3. 総合型選抜の実施に関すること 95
4. 一般選抜, 総合型選抜, 学校推薦型選抜等入学者選抜全般の方法に係る
情報提供, 助言及び支援に関すること 95
5. 総合型選抜Ⅰによる入学予定者に対する入学前教育の支援に関すること . 95
6. 入学希望者及びその関係者を対象とした大学の広報に関すること 104

第Ⅱ部 専任教員の活動の記録 117